

いいね！ まちづくり

市民活動グループを紹介します

遠慮なく支えてもらえる 社会を目指して

団塊の世代が75歳以上に達する2025年を前に、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、3年前

「人道、博愛」の精神のもとに、明るく住みよい地域社会づくりのため結成された「福井市赤十字奉仕団」。地域のボランティアの要として、災害時の救護活動や炊き出しのほか、献血や募金活動、高齢者施設での手伝いなど、さまざまな活動を行っています。

からは地域での見守り活動にも参加しています。代表の朝倉由美子さんは「これからは限界集落が増えてくる。元気なうちは、自分のごみ出しや買い物のついでに、外出が難しい人の分もやってあげるといようなサービスをしていきたい。お互いが支え合うことで、年を取ったら遠慮なく支えてもらおうというような意識につなげたい」と、今後の抱負を話してくれました。



福井市赤十字奉仕団

一乗分団の皆さん



炊き出しの豚汁を食べる親子



日本赤十字社県支部による
AED講習会



防災訓練での炊き出し

Data

昭和23年5月に結成し、昨年70周年を迎えた。約2,900人の団員が、市内43地区に分団を構成。50～70歳代の女性を中心に、地域に根差した奉仕活動を行っている。

* * * * *